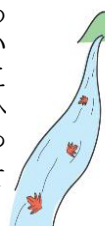


短歌への誘い 冬の歌

来月は師走、きざわしい年末が来る前に。ゆつたりと短歌を鑑賞してみませんか。

山里は 冬ぞさびしき まさりける
人目も草も かれぬと思えば



みなもじのむねゆきあそん
源 宗行 朝臣

山あいひっそりと埋もれこんだ小さな村。家々の軒端に斜めにかかる弱い日差し。草も枯れ裸木の間を着々と風が吹きぬける。人々の行き来はとだえ待つ人も来ず、嘘の裏の去った春、去った夏。山里で孤独を噛みしめるとき冬の寂しさはひとしおつる。作者は、光孝天皇の孫。古今集に「冬の歌とてよめる」とあり、山家暮らしの侘しさを抒情的に歌い上げています。しかし天皇の孫である作者が、実際に冬の山で暮らしとは考えにくく、山里の印象をもとに都で作られた歌であろう。

心あてに 折らばや折らむ 初霜の
おきまどはせる 白菊の花



おわしうちのみつね
凡河内躬恒

朝の庭に降り立てば咲き乱れた白菊の一群にいちめん初霜が降りている。白と白とは入り混じりどこまでが花どこからが霜？菊を摘み取れば手に消える冷たい霜の花。折るのなら当てずっぽうに折ってみようか霜が消えれば手に残る沓え沓え濡れた菊の花：冬が近い。

生没年、官位など詳しいことはわからない。つまりそれほど身分の低い官吏であった。しかし、歌の才に秀で三十六歌仙の一人でもある。ある日、宮廷人が源俊賴に「躬恒と貫之どちらが優れているか」と尋ねたところ「躬恒をば侮らせたもふまじきぞ」と答えたというエピソードもある。

今回は、天皇の孫、そして血筋を身分もわからない歌人を、取り上げてみました。皆さんは、どちらの歌がお好きですか？
(ミニコミ W・S)

ちよつと一息



今回は、銭湯（お風呂屋さん）にフォーカスしてみました。銭湯の歴史は江戸時代に遡ります。江戸の銭湯は蒸し風呂風に足湯で、湯船はありません。これは火事を防ぐ為でした。早朝から開業し、午前中は赤ちゃん、子ども連れの女性、午後からは職人、商人、御家人、与力等様々な階級の人々が平等に利用し、コミュニケーションの場にもなっていて、ここから「裸の付き合い」という言葉が生まれた様です。

それでは現在の銭湯はどうでしょう。銭湯の最盛期は今から五、六十年前の昭和四十年頃で、その頃東京には、五百軒程あり、世田谷区内には、百八十軒もありましたが、現在では二十五軒にまで減ってしまいました。昭和四十年代後半から、内風呂が増えた事が銭湯人口を減少させたように思います。しかし銭湯側も色々なアイデアを出し、今から五十年前には、日本初のコインランドリーを常設した銭湯や、番台を無くして受付と脱衣フロアを分割したり、又世田谷区は、六十五歳以上の希望者にお風呂券を発行して、銭湯利用者に便宜を図っています。又ある銭湯では月に一回、五十人くらいの保育園児をお風呂体験として招待しています。その他に銭湯サポーターと言って銭湯ファンが様々な銭湯に入浴し、その情報をインターネット上に挙げています。グループや、銭湯検定もあるそうです。そんな昨今の客層はと言うと、立地にもよりますが、昼はお年寄り、学生。夜はサラリーマン、民泊の一見さん等。赤ちゃん連れは一か月に一組か二組程度だそうで、男女

比は六対四で男性が多いそうです。そして午後三時の開店時刻より早く皆さん並んで待っていました。待っている間も、和気あいあいとお話をしています。こうして銭湯は代々の経営者の柔軟な対応と機知により「コミュニティの場、憩いの場」として身も心もサッパリと出来る場である事を長い間守って来ました。IT（情報技術）やAI（人工知能）の時代になっても変わって欲しくない場所ですね。さてさて、私もチョットひとつ風呂浴びたくなりました。皆さんも一緒にいかがですか。

なお、「わが街太子堂・三軒茶屋」の地域には、左記の銭湯マップのとおり、四軒の銭湯が営業を続けています。



むすびになりませんが、ご多忙中にもかかわらず、今回の取材に対しご協力いただきました。銭湯の御主人様に厚くお礼申し上げます。
ミニコミ(S・I)

ある「猫」の一日



我が家の近所に、お利口な三毛猫がいます。朝はごみを捨てに行く私に、集積所まで付いてきます。最近日は短くなったので、黒っぽい三毛猫が暗がりから急に近づくと驚くので、「ここについてね」と言っていたら待ってくれます。ごみの集積所から、いつもの屋根に戻り先ず朝食を、次は他家の屋根の上で昼まで寝ています。そして今度はおもむろに起きて昼食を食べます。

この猫の一番の苦手はカラスです。屋根の上からひと回り眺め、夕食の食器の様子を観察します。カラスでもいれば、音を立って階段の下に隠れます。カラスは猫の残飯を狙って急降下し、接触しそうで本当に怖い鳥です。電線に並んで止まって猫の夕食を狙います。猫はカラスの様子を窺い、ゆっくり夕食に近付き、食べ始めます。

ある日の「猫の行動」を観察してみました。動物も生きていくのは大変な事なんだなあと思いました。(ミニコミ K・S)

<行事報告>

- 07月21~22 太子堂カナルキャンプ(太子堂中学校)
- 08月02日 太子堂物語上映会
- 08月25日 太子堂ふれあいまつり(太子堂小学校)
- 09月08日 普通救命講習会
- 10月13.14日 太子堂八幡神社祭礼
- 11月03日 ふれあい芋煮会
- 11月11日 歩こう会(林試の森公園)

<行事予定>

- 11月17日 秋の古着古布回収(雨天の時は翌日)
- 12月15日 防災講演会(三茶しゃれなあど)
- 02月10日 太子堂こどもマラソン大会(太子堂小学校)
- 02月24日 太子堂地区防災訓練